

首都圏段戸会会報

平成22年3月
第25号

発行責任者
首都圏段戸会
会長 永田 宏

編集発行人
広報担当 磯尾 進

平成二十一年度総会・懇親会報告

八丁味噌からプリウスまで！
世代を超えた価値観を共有する場

高43回 八田益之



永田会長挨拶

第37回首都圏段戸会総会が10月31日(土)アルカデア市ヶ谷にて開催されました。参加者は実質過去最多となる約250名。手元の記録によれば、平成8年の参加者は約80名と、13年間で3倍増！この求心力、そして冒頭から笑い声の挙がる和やかな一体感は、この会ならではの。



同窓会会長 中根勝美さん

会でひっきりなしに挨拶に訪れる教え子に囲まれる光景は例年通りです。

講演会では、「プリウス開

発と車の電動化社会を迎え」と題し、関森俊幸さん(高19)のお話を伺いました。世界の自動車業界を一新した製品開発の一部始終を担当された方です。その過程を自ら語るという貴重な機会です。関森さんはプリウス開発成功の要因を

- ① 役員室に全メンバーを集めて泊まり込むなど、密なコミュニケーション
- ② 副社長から一般社員へ直接メールが飛び交うような、IT活用
- ③ そして何よりも、「世界で初めての製品を実現させるんだ」という一人ひとりの情熱

であるとお話されました。

これらは、岡高同窓生の私たちが共有する価値観に通じるものであるように思います。最先端の技術開発をテーマとし



鈴木一男校長先生

招聘恩師は、

松橋忠先生、植田喜昭先生、平野晃一先生、小幡詩子先生、柴田哲谷先生、日高慎吾先生、藤嶋典弘先生の7名。懇親

講演会講師 関森俊幸さん



つつも、さまざまな世代・立場の参加者が真剣に聞き入っていた理由は、そんなところにもあるように思いました。

「人の価値観は15歳頃に形成される」と言われます。年の離れた相手を理解するため、「相手が15歳の時のレコード大賞受賞曲を知る」という方法があるくらいです(流行歌は時代の空気を反映するため。ある時代から理解できなくなるかもしれません)。高校の同級生が集まった時、「オマエ変わらないなあ」というタイムスリップ感があるのは、高校時代の自分は何十年経ってもそれほどには変わらないからでしょう。

段戸総会では、参加者それぞれの「15歳の社会状況」は大きく異なります。しかし「岡崎高校の3年間」という体験には、時代を超えて変わらない価値観を育む何かがあるのかもしれない。

たとえば、厳しい就活が続く学生世代にとって、一味違う就活のための機会にできるかもしれませんね。

昨年から始まった、大豆を自宅で育てて八丁味噌を作る活動も、「世代を超えた共通体験」を育てる取り組みでもあります。

「伝統の八丁味噌から最先端プリウスまで」
このような、日常にあまりない場を、さらに育てていきたいと思えます。



恩師紹介



恩師紹介

古稀を迎えて

高10回 宇佐美 忠利



宇佐美忠利さん 木村富司雄さん

平成21年10月 月末、段戸会へ同期生の皆さんと共に招待頂き有難うございました。

昭和14年8月30日生まれ

の私は、数え年70歳は昨年に迎えています。

名古屋生まれの私は、戦争中に母方の実家（現在の津島市）へ5人の兄弟と共に疎開をしている。直接爆撃された経験はないが、空襲警報の不気味なサイレンは、死への恐怖心をかき立てられた。略6歳の時に終戦を迎えている。戦後の名古屋市での食糧難で空腹のため、毎日泣いていたことをよく記憶している。

高校時代は、人間不信に陥り隠遁的な人生を送ろうと思いい、船乗りを目指した。学生時代に人間は一人では生きることが出来ないと感じ、損害保険会社へ就職をした。仕事と労働組合の役員をやり、忙しい生活を送った。昭和54年のイラン革命の際は、三井グループの石油化学プラントの現場サイトに出張で滞在しており、大デモ隊に宿舎が包囲されて、これで我が人生も一巻の終わりかと観念した時もある。イラン・イラク戦争直後の3年間はサウジアラビアに駐在をして、イスラム世界で異文化と接する貴重な経験

をした。

64歳で会社を卒業した後は、地元の皆さんとの付き合いを多くして、老人の安寧な生活を願って、市の審議委員、自治会役員、年金者組合の役員など多忙な日々を送っている。4年前に交通事故で亡くした息子の孫3人が成人するまで、元気に暮らして、親代わりをしなければならぬ。これが私にとって一番の活力源かもしれない。



古稀を迎えられた皆さん



古稀まではまだ長い

総会出席者の一言

高2回 服部 登



服部登さん 「一言」書いてください！ (編集人 磯尾・長野)

高2回 服部 登 毎年の総会に出席している内に、何時の間にか最年長出席者になってきているのには我ながら迂闊でした。私が段戸会に

始めて参加したのは第4回目の昭和51年11月に松屋サロンで開催された時だと思います。当時は先輩ばかりで若手は高校3回の木村君が世話役を担当しており、私は若手の2番手で以後木村君の手助け的な役割を仰せつかりました。高島屋工作所の専務をされた太田鎌二さんに、何かと援助をしていただいたので、毎年開催することが出来たと、先輩の有り難さを思い出します。参加のたびに、歌う校歌で胸が熱くなり、青春の思い出が沸き起こり、元



♪道遠くとも、助けつつ月

得ることが出来、実際の範囲が広がりました。春夏の甲子園で、全国の校歌を耳にしますが、岡高の校歌こそ日本一の校歌だと思えます。校名は一切入らず歌詞を読めば郷土の風景が思い出され、作曲と相俟って歌うほどに元氣を得るのは、皆さんも同じではないかと思えます。元氣な先輩の方々が一人でも多く参加されるのを願いながら、今年も先輩、同級生に声を掛けて参加したいと思っています。

高13回 中 浩之



藤田訓弘さん 中浩之さん

本年は伊勢湾台風から50年目ですが、鈴木現校長先生より説明があつたように、我々13回卒業生はその台風到来のために、

秋の修学旅行がお流れとなった。しかし、その修学旅行を50年後の同日に実現しようとして発想した人と、それを企画実行しようとした人の尽力で、「幻の修学旅行」が「現実の修学旅行」になった。当時の夜行列車は廃止となったため、移動手段はバスとなったが、恩師1名の引率のもと、36名での「横の繋がりを深める」旅行となった。そして、旅行が終わったの「首都圏段戸会総会」では、先輩、後輩との再会や歓談のひと時で、今度は「縦の繋がりを実感する」こととなった。



内田力さん 中西和幸さん

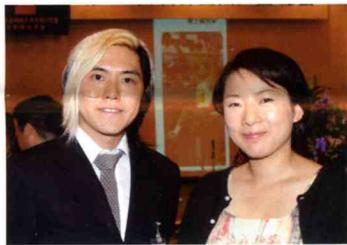
高38回 中西 和幸
今年は同期
が出席してく
れました。あ
りがたいもの
です。ただ、
在学中は文系
と理系のフロ
アが違ったこ
ともあり、全



野々山浩さん

高23回 野々山 浩
お世話になっ
た岡高コーラ
ス部近藤先生にお
会いするため、
平成19年12月の
懇親会に参加し
たのが、首都圏
段戸会とのお付
き合いの始まり
でした。今年、昭和39年(1964)

東京オリンピックの聖火ランナーだった私の先輩、市議員となった同級生、中学の同窓生で同じ銀行の私の後輩、私の妹の中学校の同級生、私の妻が結婚前に勤務していた会社の後輩、廊下を歩く床が抜けるような旧校舎のお話をいただいた大先輩、難儀な法律論議をさせていただいた弁護士先生等、多くの方と楽しくお話できました。今後は世話人として、楽しみながら、高23回の参加者の増強を図って参ります。



岸本武也さん(高52回) 杉本いつみさん
芸名 (Jaaたけや)

高47回 杉本 いつみ
初めて参
加した同窓
会の盛況ぶ
りに驚くと
同時に、半
年前までは
段戸会の存
在も知らな
かった自分
が、年齢も職業も驚くほど幅広い初対面の方々と少しの気安さを持って同じテーブルに着いているのが不思議に感じました。地元ではない東京でそれぞれ活躍されているお話に刺激を受け、15年ぶりに聞いた校歌も完璧に覚えているのに驚き、楽しく過ごしました。

く面識はなかったのですが…。それでも在学した時代が一緒なので、話が弾みました。次の総会・懇親会には、もつと声をかけてみたいと思います。ただ、首都圏在住で連絡先が分かっている同期はどれくらいだろう…。
ところで、家族5人中4人が岡高卒業生(首都圏在住は私1人)、伯母も首都圏在住の岡高卒業生という運命や、最初に出席した総会・懇親会には前後2年の卒業生が誰も出席していないという偶然から、世話人に名前を連ねています。もつとも、名前ばかりで戦力になっていないので、もう少し役に立たなければと焦っております。



犬塚真由子さん 内藤茂弥さん 小田敦子さん

高59回 犬塚 真由子
小田 敦子
内藤 茂弥
今回初めて
首都圏段戸会
の総会、懇親
会に参加をさ
せて頂きまし
た。総会での
講演会で興味
深いお話を直
接聞けただけ
でなく、懇親
会では国会議員の方や日本を代表する企業にお勤めの方など、普段知り合うことのできないような方々とお話しをすることができ、大学生として大変有意義な時間を過ごすことができました。私たちのような学生の話にも温かく耳を傾け、貴重なアドバイスを下さった諸先輩に心から感謝したいと思います。地元から離れても定期的に集まり、こんなにも多くの方々が参加する段戸会は大変貴重な機会であり、先輩方の岡高への思いと結束力の強さを改めて感じました。来年も是非参加したいと思えました。

仕事や子育てに忙しい時期の同期が多い中で、こんな貴重な機会はないのではないかと思います。私の場合きっかけは仕事上のお客さまからの紹介でしたが、見えなかった糸をつないでくれた御縁と新しい出会いに感謝します。



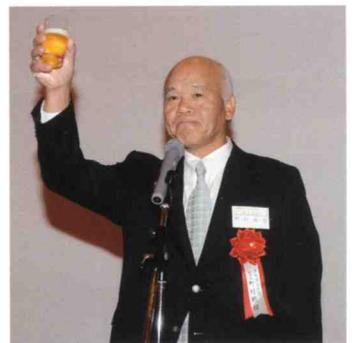
「段戸華教室」の皆さんの心づかい



いただきまーす!



うっとり!



野村副会長

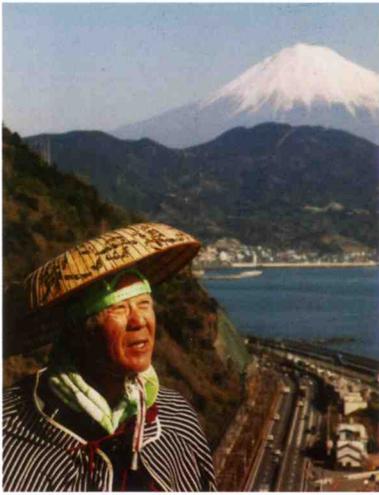
特集

人生お楽しみ中!

街道を歩く

高14回 齊藤 幸夫
(旧姓・角谷)

定年から6年。自宅周辺の散歩を繰り返す毎日であった。目線の景色に変化がなく飽きがくる。そんな折、テレビで東海道を歩く「街道てくてく番組」が始まり、実家(東海道藤川宿)の周辺が映しだされ、自分でも出来そうな気がした。バイトで資金を稼ぎ、07年2月その旅を実行。いま街道歩きに嵌まっている。



薩多峠にて

京都から日本橋まで約500キロ、22日間を要した。旧街道に拘りを持ち雪中、道を間違え何度も後戻りし、再び、

ひたすら前へ進む余裕のない旅であった。踏破した後、旅日記を冊子として自費出版。知人、同級生に寄贈した。

東海道が終わると今度は中山道537キロへと夢が膨らむ。そして、09年2月、3月、5月、と3回に分け、日本橋から京都へと向かった。通して歩きたかったが、さまざまな予定をクリアしながらの旅であった。情緒あふれる奈良井宿、夕闇せまる雪の木曾駒が印象に残る。雪の和田峠、碓氷峠越えも忘れられない。いま、中山道旅日記を編集集中だがうまくまとまらず、悪戦苦闘している。

もう一度歩いてみたい気持ちでもある。ただ黙々と歩き何が楽しいかと聞かれても困るが、人との出会い、思わぬ発見がある。踏破したときの満足感が堪らない。歩いた人でなければ分からないだろう。日々の暮らしのなかで、何か継続できることを見つけ、それに向かって努力することが大切なことと思う。

次は甲州街道、日光街道を目指す。街道歩きの条件として体力、時間、相応の資金が必要だ。この会報が届く頃は又、リュックを背負っているかも知れない。

団塊世代の
トップランナーとして

高18回 山内 恵
(旧姓・永田)



練習メニューに沿って「サー！」

18回卒の私たちは「団塊世代」の先頭集団。職場をリタイヤールして第二の職場に就く者、趣味の世界に飛び込む者、両者をバランスよく楽しもうとする者と様々です。私は3番目の一番欲張り人生を目指す団塊世代の一人です。専業主婦だった私は42歳で子育て後の人生に再チャレンジすることを決意、主婦学生として大学へ再入学。東京外国語大学で博士号を取得した後、現在は津田塾大学の専任教員の仕事の他、2つの大学でジェンダー論やアメリカ史など教えています。

研究者と教員としての仕事に明け暮れる人生を再考するきっかけが、岡高時代水泳部員として共に泳いだ親友の突然の死でした。「仕事を最優先」という私の人生訓はガラガラと崩れさったのです。彼女の死後無性に泳ぎたくなった私は、

自宅すぐ近くのスイミングスクールに通い始めることに。今では現役時代より速く泳げるようになりました。一番の得意種目は平泳ぎです。09年9月、京都で開催された国際ゴールドマスターズ大会(50歳以上のスイマー対象)では堂々の2位、銀メダルをゲットしました。2年前にスイミングの仲間たちと同好会「深谷めだか倶楽部」を結成しました。現在は若い世代に代表を引き継いでもらい、楽しく泳げる環境に満足しています。悩みは仕事が忙しくて練習時間がなかなか確保できないこと。目標はマスターズ年間ランキングの種目別で10位以内に入ることです。団塊世代シルバーエイジのトップランナーとして、輝き続けていたいのです。

「深谷めだか倶楽部」のホーム・ページ (<http://medaka.soregashi.com/index.html>) にアクセスしてみてください。私の勇姿が見られます。



辰巳国際プールにて

なぜこの仕事を？——IT企業の巻

なぜドイツ資本のソフトウェア企業に？

高35回 古澤 昌宏



その日、中学生の僕は「音場」に包まれていた。場所は岡崎市民会館大ホール。前後左右に飛び回ったかと思えば、次の瞬間、天井から音が雪崩れてくるのだ。

富田勲先生(併23回)による「ピラミッド・サウンド」。客席の四方と天井のスピーカーによる5ch空間で、ドビュッシーの曲や先生の「新日本紀行のテーマ」の音が飛び回るのだ。鮮烈だった。自宅のステレオでレコードが擦り切れるほど聴き込んだトミタサウンド。それを巨大な音のピラミッドの中で体験できたのだから。僕は岡崎の中学生であることに感謝した。

続くご講演での予言。「コンサートのステージにはポツンと小さな箱があるだけ。そこからどんな音が出るのか想像もつかない。近い将来そうなります。」

運良く岡高に進学できた僕は、YMOに夢中になった。感情を排した声で「E.C.H.N.O-P.O.L.I.S Tokyo」と繰り返す高橋ユキヒロ。「単なる箱」から無限の音色が紡ぎだされたのだ。

そしてYMOに感化された(?)通産省が「テクノポリス構想」を発表。時代が求めているものはコンピュータ、それもソフトウェアなのだ啓示を受けた。

親を拝み倒して首都圏に進学。6年間、ソフトウェアを基礎の基礎から勉強できたのは、本当に幸運だった。時まさに「インターネット前夜」。大学間で定期的に電話を掛け合い、メールやニュースを転送していたのが懐かしい。

その頃の音楽の嗜好といえば、YMOから先祖がえりして、ワルター・カロースの「スイッチト・オン・パッハ」やクラフトワークの「ヨーロッパ特急」にのめり込んでいた。まさに病膏肓に入る。そういうえば、いずれもドイツの作品だったり、アーチストだったり。

と思えば、長唄研究会に所属。毎日数時間、三味線を弾いていたのもこの頃だ。僕にもう少し音楽の才能があったら間違なくドイツ系の現代音楽を志したと思うのだが、ある時無理と悟った。

次善は啓示を受けたコンピュータソフトウェア関係の職業に就くこと。幸いにして叶えられ、現場での経験を糧に成長した。一度転職し、ドイツ資本のソフトウェア会社SAPにいる。

最近自分のキャリアが、中高時代の音楽志向性に酷似していることに気づいた。とすると、次は純国産に回帰するはずなのだが、果たして……

大それた夢もなく……

高45回 筒井 貴之

なぜこの仕事を？と改めて問われた時に、回答に窮してしまいました。

情報系の大学院に進んだものの、特段に大それた夢もなかった私は、学校推薦のリストの中から今の会社を選びました。

その時は、恥ずかしながら特にこれといったポリシも無く、(新しいことを勉強するのは大変だろうなあ、という後ろ向き理由で)今の専門性を生かして日々の糧が得られればいいや、という程度の気持ちしか持っていなかったと思います。

入社後に配属された部署では、とある巨大システムをより安定的に、より効率的に運用するというのが主な業務でした。与えられた仕事は学生時代の貯金でそれなりにこなし続け、そのままいつしか中堅と呼ばれる頃になっておりました。

ですがある時、別に自分でなくてもこの仕事はできるという事に気づいてしまいました。以来、自分でしかできないこととは何だろうという自問が始まりました。

これまで、日々の糧を得ることはできていても、人生の糧になるようなものは得られていなかったように思われました。

あせる気持ちから、何かしないと、IT資格や技術情報などの勉強をはじめると、技術の進化や業界の変遷は考えていた以上に激しくて、自分が学生時代に学んだことは基礎の基礎だけだったということが改めて分かりました。

それもそうです。家に居ながら買い物はできるし、ケータイで電車にも乗れる。学生時代には夢のような事でもITで実現され、世の中は大きく変わっていま

した。なぜこの仕事を？それをもう一度考えてみます。

IT業界のエンジニアに限っても、いろいろな役目があります。巨大システムの中の無くてはならないキーマン。日夜最新の技術を研究し、開発する人。プロジェクトや経営のマネジメントをする人……。

私は、この仕事を続けるにあたり、大それた夢でなくても良いから、小さな夢を少しずつ実現するためのアイデアを産み出す人になろうと思えました。自分の甘さに気づいた数年前から、そのような決意をもとに行動を起こし、今、いくつかの夢の種の発芽を待つというところまで来ました。

ITの可能性はまだ大きく、一昔前では夢だったことを、自分達の手でも実現させる事ができるかもしれせん。もちろん、そのために一生勉強は必要ですし、努力を惜しんではなりません。

私は、なぜこの仕事を？という質問には、『夢を実現するためです』といつても答えることができるようにしたいと思っています。



趣味はマラソン

D-misoプロジェクト活動報告

～皆で大豆を育てて赤味噌を作ろう！～

皆で大豆を育てて赤味噌を作る「D-misoプロジェクト」の活動状況を報告します。

高3回から高58回までの幅広い首都圏段戸会の有志らに大事に育てられた大豆たちは、昨年10月末の総会の場や事務局に続々と届けられました。

事務局では12月30日に皆さんの大豆を岡崎のカクキューさんに持ち込み、岡高卒業生である第19代当主早川久右衛門さんと早速味噌の仕込みの相談をしました。早川さんのご厚意で、粒の揃った一部の大豆について、蒸して味噌玉にした後、それを豆麴にして水と食塩で仕込み、そして二夏二冬以上天然醸造させる、という八丁味噌の伝統的な製法で味噌にさせていただくことになりました。残りの大豆は米麴を使った米味噌にさせていただきます。



D-misoプロジェクトの進捗状況は、D-misoプロジェクト2009ブログ (<http://d-miso.jugem.jp/>) でレポートしていますので、どうぞご覧ください。

「本当に大豆が実るのかな」と不安を覚えながら始めましたが、実際に郷里の名産を原料から世代を超えて作ることができ、事務局一同、感激しています。至らない点も多々あったかと思いますが、お許し願えれば幸いです。

D-misoプロジェクトは今年も続けます。5月頃には大豆を発送できるよう、準備を進めてまいります。参加を希望される方は、ぜひ事務局 d-miso@googlegroups.com (従来のものから変更) までお知らせください。長野(高42回)



「本当に大豆が実るのかな」と不安を覚えながら始めましたが、実際に郷里の名産を原料から世代を超えて作ることができ、事務局一同、感激しています。至らない点も多々あったかと思いますが、お許し願えれば幸いです。

D-misoプロジェクトは今年も続けます。5月頃には大豆を発送できるよう、準備を進めてまいります。参加を希望される方は、ぜひ事務局 d-miso@googlegroups.com (従来のものから変更) までお知らせください。長野(高42回)

段戸音楽会 活動報告

「段戸音楽会」は例年総会・懇親会で校歌伴奏とBGMを担当させていただき、2009年は「オペラディ・オペラダ」(ビートルズ)、「見上げてご覧夜の星を」「上を向いて歩こう」を高17回～高58回の8名で演奏しました(フルート、ギター、クラリネット、オーボエ、バイオリン、尺八、ピアノ)。主に土日に練習会を重ね、練習の後は特にお腹が空き、いつものレストランへ直行する談笑会はとても楽しみです。学業、大事な試験を控えての大学生、多忙な社会人、趣味遊々の自由人など幅広い年代の私達(音楽専攻やセミプロ～趣味の世界までのメンバー)は、思い思いの異なる楽器でパートを受け持ち、一つの曲を演奏し、次第に、やがて、ハモル時は全員の大きな喜び!です。新年会で東京シティー・フィル associate conductor 大河内雅彦さん(42回)にもアドバイスをいただき、そして裏舞台で応援して下さる方々のお力もお借りし、美しいハーモニーを求め「次はどんな曲!?」「出来るかな!?」……楽しい、厳しい、“新しい♪旅”が又始まります。ご一緒して下さい方、是非ご連絡をお待ちしております。

山田(高17回)



「オムライス大盛りとケーキお願いします!!!」

段戸就職活動・ キャリアアップ支援セミナー

本セミナーは首都圏段戸会の方々を講師として招き、就職、再就職はもちろんのこと、起業、資格取得などについてその秘訣を語っていただくものです。第6回(12月8日)は女性資格士にスポットを当て、「女性きりり - 土業という選択 - 」と題し、主婦業を抱えながら資格を取得され、現在もご活躍中の杉浦ひとみさん(高27回)と山崎正枝さん(同)に講演をいただきました。杉浦さんは「定点を見失わない方法」をテーマに、弁護士になった動機から始まり、学校、職場、家庭におけるさまざまな問題(いじめ自殺、DV等)、さらにボランティアで関わっている中国従軍慰安婦問題についても触れていただきました。山崎さんからは複数の企業勤務、結婚、子育て、社会保険労務士取得までのキャリア形成、そして豊かな人生の実現に向け、「ワーク



& ライフ・インテグレーション」について熱く語っていただきました。今回は人生経験の深い中高年世代の方々が参加され、終了後の懇親会も大いに盛り上がりました。

織田(高26回)

福山透さん(高19回)紫綬褒章受章

東京大学薬学部教授福山透先生の紫綬褒章受章、誠にありがとうございます。心よりお祝い申し上げます。

ここで、先生のご紹介をさせていただきます。自然界には、医薬等として有用でありながら、十分な量を容易に単離できないものが少なくありません。先生は、このような天然生理活性物質の全合成の世界的第一人者であり、抗癌性物質エクチナサイジン、ピンプラスチック等数多くの物質を独創的な手法で全合成されています。また、「福山インドール合成」、「福山還元」等、汎用性の高い多数の有機合成方法を新規に開発され、化学・薬学分野の発展に大きく貢献されてきました。中日文化賞など受賞歴も数多く、現在は有機合成化学協会会長などを務められています。先日の段戸フォーラムでは、「卓越した」、「創造性豊かな」と評される先生の全合成手法の裏にある、並々ならぬ努力、有機合成に対する熱意、そして、思考を楽しむ心を、さらに、研究に止まることのない幅広いご活躍を支える、ご自身の大切にされる哲学を、素敵なエピソードを交えながら楽しくご講演くださいました。



鳥居(高50回)

平成22年度世話人

- (高2回)服部 登 会計監査
- (高3回)丹羽 鼎
- (高6回)有馬 弘 政
- (高7回)村上 滯 子
- (高8回)杉浦 嘉久 田中 厚生
- (高10回)木村 富司 雄
- (高11回)永田 宏 淳 会長
- (高12回)鶴田 文 徹 成瀬 浩 弘
- (高13回)中 浩 弘
- (高14回)藤田 訓 進 副会長
- (高15回)磯尾 鏡子
- (高16回)水谷 鏡子
- (高17回)満江 信之 鈴木 貞雄 野村 親信 副会長
- (高18回)伊与田 正彦 佐伯 寛子 山田 博子
- (高19回)山内 文 恵
- (高20回)都築 正 行 福山 透 村木 央 明 天野 隆 太郎

- 辻村 貴典 副事務局長
- (高21回)清水 照雄 企画担当
- 丸川 美雪 情報担当
- (高22回)山田 俊文
- 青山 裕治 副事務局長・会員担当
- 上田 洋子 副事務局長・書記
- (高23回)野々 山 浩
- (高25回)戸田 讓三 会計
- (高26回)織田 利彦 副事務局長・企画担当
- 山口 知子 情報担当
- (高27回)山崎 正枝 書記
- (高28回)石田 邦雄
- (高30回)米津 智徳
- (高31回)畔柳 博史
- 高原 正之 企画担当
- (高32回)堀内 友三
- (高33回)阿部 由美子
- (高34回)板谷 敏正 企画担当
- 井上 由美子 企画担当
- (高35回)佐藤 千矢子 会員担当
- 菅 伸介
- 古澤 昌宏
- (高38回)中西 和幸
- (高40回)大 武
- (高41回)磯谷 陽子 企画担当
- 重 徳和彦
- 平 山 健二

- (高42回)長野 麻子 広報担当
- (高43回)八田 直之 情報担当
- (高44回)松尾 益樹 情報担当
- (高45回)筒井 貴之 情報担当
- 西浦 瑞恵 情報担当
- (高46回)朝岡 大輔 小椋 俊博 杉浦 清美
- (高47回)杉本 いづみ
- (高49回)青島 信吾 三田 桂子 情報担当
- (高50回)鳥居 福代 前田 泰典 加藤 千晴 細田 晃展 今泉 貴雅 加藤 祐貴
- (高51回)上野 傑 安藤 美保 山 英嗣
- (高52回)加納 実久 門池 金八 犬塚 真由子 小田 敦子 内藤 茂弥 篠原 国智 杉浦 綾香

《サークル活動》に関するお問い合わせ 皆さまの参加をお待ちしております!

- “段戸囲碁会” (代表: 藤田 訓弘 高13回) kfujita@muc.biglobe.ne.jp
- “段戸華教室” (代表: 西浦 瑞恵 高45回) usagi-m@msg.biglobe.ne.jp
- “段戸音楽会” (代表: 山田 博子 高17回) marcialgow2w-danon3@memoad.jp

- “段戸句会” (代表: 小森 葆子 高13回) shigeko_komori@ybb.ne.jp
- “段戸「山の会」” (代表: 板谷 敏正 高34回) itaya@propertydbk.com
- “段戸ゴルフ会” (代表: 木村 富司雄 高10回) BYR10566@nifty.ne.jp

「首都圏段戸会」公式ホームページ <http://homepage3.nifty.com/dandokai/>
 メールアドレス nqd28299@nifty.com

第37回(H21年) 首都圏段戸会総会出席者

岡高OBの恩師は各年次に含めています。

(校長)	鈴木一男	神谷国広	後藤守孝	(高31回)	高原正之	日高慎吾
(恩師)	植田喜昭 松橋 忠	佐野公治	杉崎慎一郎	(高32回)	白田 亨	岡崎智子
(高2・中5回)	太田 久 近藤賢八郎	平野晃一	本多 健		砂田滋子	田畑誠子
	服部 登	満江信之			早川慎吾	原 えつ
(高3・併23回)	宇津野隼千 小澤 一郎	(高16回)	大山達雄 鈴木貞雄		堀内友二	山田喜代子
	加藤正義 鏑木道子		鈴木弘恵 野村親信	(高33回)	阿部由美子	松田かおり
	久保雅之 後藤三千代	(高17回)	石川 晃 伊与田正彦	(高34回)	板谷敏正	井上由美子
	鈴木俊幸 高井美智子		佐伯寛子 鈴木光治		杉山幸成	内藤正光
(高6回)	丹羽 鼎 松井淳子		鈴木 寛 竹嶋栄子		吉村玲子	
(高7回)	有馬弘政 長瀬けい子	(高18回)	武藤隆子 山田博子	(高35回)	菅 伸介	佐藤千矢子
	是津定利 近藤 衛	(高19回)	山内 恵		古澤昌宏	
	斎藤悦子 杉山 修		安藤 昭 石樽直美	(高38回)	内田 力	中西和幸
	高橋里恵子 永田綾子		岡部芳郎 木下武司	(高40回)	大田 武	
	蜂須賀ケイ子 羽谷 允		近藤陽一 坂田徳雄	(高41回)	磯谷陽子	重徳和彦
	吹抜敬彦		関森俊幸 高橋伸芳		平山健二	
(高8回)	工藤圭章 近藤忠男		都築正行 時田和芳	(高42回)	稲垣敬子	大河内雅彦
	杉浦嘉久 外村 仁		長崎秀子 中島邦子		嶋田直哉	長野麻子
	高橋道人 田中厚生		南郷 孝 野澤信一	(高43回)	青井誠一郎	八田益之
(高9回)	岡田敏夫 香村時良		則竹千恵子 福島安史		平山康之	
	近藤和佳子 斉藤聖子		福山 透 宮崎収兄	(高44回)	星 裕子	松尾直樹
	鈴木仁子 林 宏子		村木央明		松田晴光	宮崎良人
(高10回)	宇佐美忠利 太田信朗	(高20回)	天野隆太郎 遠藤 昇	(高45回)	辻内理枝子	筒井貴之
	木村富司雄 野本光彦		北野光敏 竹内鑑二	(高46回)	浅井太郎	大川 博
	藤田鮎子 安田孝子		辻村貴典 野村金次		杉浦清美	
	山本 馨		原田勝広 兵藤秀和	(高47回)	杉本いづみ	早崎 宏
(高11回)	青木かゑ子 阿部泰子		水野恵介 水野信子	(高48回)	井上健志	
	今井哲夫 梅村豊子		矢吹 清	(高49回)	青島信吾	
	杉山樹三郎 竹嶋俊紀	(高21回)	渥美忠男 天野 茂	(高50回)	加納孝俊	杉浦仁美
	永田 宏 中根勝美		市川 剛 内山田邦夫		住田朋久	鳥居福代
	中根 淳 中村嘉子		小栗恵子 清水照雄		永井将貴	中越淳助
	服部豊治 林 泰子		徳田 登 内藤良江		中島陽樹	
	本多慶成 三浦美穂子		丸川美雪 矢田金市	(高51回)	成瀬隆史	
(高12回)	山崎宣典	(高22回)	山田俊文	(高52回)	今泉佐和子	今泉貴雅
	稲垣早苗 鷗飼道孝		青山裕治 上田洋子		岸本武也	
	杉浦満智子 堤 三郎		柴田哲谷 高瀬雅祥	(高53回)	上野 傑	
	鶴田文男 吹抜洋司	(高23回)	中村賢治	(高54回)	加藤直也	杉浦雅仁
	星野陽一		清水郁夫 野々山浩		山田英嗣	
(高13回)	五十嵐佐知子 伊藤正明	(高25回)	稲垣智子 戸田譲三	(高55回)	楠崎健太	澤田圭佑
	神道千秋 鈴木功一		戸田妙子 山本三郎	(高56回)	清水あゆみ	塚本 遥
	中 浩之 新実昭治	(高26回)	石橋容子 大山幸信		長坂 仁	松井孝憲
	廣瀬忠行 藤田訓弘		織田利彦 畔柳 誠	(高57回)	井脇浩之	加納実久
	本多正之		高橋芳子 松井源治		友師 悟	
(高14回)	天野 彰 磯尾 進		山本修己	(高58回)	市古有希	斎藤治子
	磯村澄江 太田眞澄	(高27回)	高木正己 山崎正枝		高松 順	鳥山順丘
	笠原 紘 糸田輝義	(高28回)	大岡博英 酒井邦彦		野村高文	
	斉藤幸夫 笹瀬 修		三枝奈芳紀 竹内 彰	(高59回)	犬塚真由子	小田敦子
	長井佐紀子 中島綾子		藤井 哲 藤嶋典弘		内藤茂弥	
	水谷鏡子	(高29回)	鬼澤敬子	(高60回)	篠原国智	杉浦綾香
(高15回)	尾崎寛人 小幡詩子	(高30回)	米津智徳		内藤恵子	